

教科目名 プロジェクト演習 (Projected Exercise)

専攻名・学年 : 全専攻 1年 (教育プログラム 第3学年 科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ,後期1コマ,学習保証時間45時間)

担当教員 : 大木正明, 穴井孝義, Patricia Ann Hara(後期から)

授業の概要			
<p>学会発表をする場合は、あらかじめ「題目」と「アブストラクト」を提出し、審査を受けるのが一般的である。本授業は、自分で英文アブストラクトが書けて、それを基に英語でのミニプレゼンテーションができるようになることを目標にする。本来は各自が専門とする分野でのリサーチ及びプレゼンテーションが望ましいが、クラスの全学生が話題を共有できるようにするために、リサーチのテーマはプラグマティクス(語用論)とする。前半は、まずテキストに従ってプラグマティクスについて考察を加えながら、英文アブストラクト作成やプレゼンテーションで頻繁に使用される英語表現をマスターする。後半は、夏休みに各自でおこなったミニリサーチに基づいて実際に英文アブストラクトを作成し、最終的にはそれを基にミニオーラルプレゼンテーションをおこなう。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C2), JABEE 目標(f)	
<p>(1) アブストラクト作成やプレゼンテーションに有効な英語表現がマスターできるようになる。(前期末試験) (2) 200語から250語程度の英文アブストラクトが書けるようになる。(課題) (3) 英文アブストラクトを基に英語でのミニプレゼンテーションができるようになる。(後期末試験前・中の発表会)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	授業オリエンテーション	授業の概要説明	【理解の度合い】
2	Chap. 1・英語表現指導(以下毎週)	Greeting・ESPの解説と指導(以下毎週)	
3	Chap. 2	Communicative Competence	
4	Chap. 3	What is Pragmatics?	
5	Chap. 4	Speech Acts	
6	Chap. 5	A Speech Act, Apology	
7	Chap. 6	Conversational Implicature	
8	Chap. 7	Indirect Speech Acts	
9	Chap. 8	Politeness (1)	
10	Chap. 9	Politeness (2)	
11	Chap. 10	Politeness in Making a Request	
12	Chap. 11	Cross-cultural Pragmatics	
13	Chap. 12・リサーチの内容決定	Conducting Research	
14	リサーチの報告とこれまでの復習		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	Chap. 13	Title Making and Abstract Writing	【理解の度合い】
17	Chap. 14	Writing the Abstract in English	
18	Chap. 15	Preparing for a Presentation	
19	Chap. 16	Examples of Presenting a Research Paper	
20	Chap. 17	Giving a Presentation in English	
21	Pronunciation Drills	発音指導	
22	A Model Presentation	模範プレゼンテーションと解説・指導	
23	Chap. 18	Writing a Research Paper	
24	Practicing Speaking	話し方の練習	
25	Presentation Rehearsals	プレゼンテーションリハーサルと指導	
26	Presentation Rehearsals	同上	
27	Assessment of Oral Presentation	プレゼンテーション(発表会)	
28	Assessment of Oral Presentation	同上	
29	Assessment of Oral Presentation	同上	
30	後期末試験	同上	【試験の点数】 点
	後期末試験の解答と解説		
履修上の注意	(1) 日頃から英語に積極的に接しておくこと。 (2) 各種の英語資格(検定)試験に挑戦すること。 (3) 自動翻訳機を使用することのないように。		【総合達成度】
教科書	配布プリント, 田中典子, 「プラグマティクス・ワークショップ」春風社。		
参考図書			
事前準備学習	教科書 Chapter 1 から Chapter 11 までの英文 TEXT を何度も読み, 知らない語句がないようにしておくこと。		【総合評価】 点
関連科目	英語A, 英語B, 現代英語I,		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について前期末試験(30%)と課題(30%)及びプレゼンテーション(40%)の各評価を総合し, これを総合評価とする。総合評価60点以上を合格とする。		